



1) 平成30年度 経営状況

・ 人事院勧告や職員数の増加の影響もあり、前年度に比べ給与費が増加した。また、新病院建設に伴う経費の増加等で医業費用が増加した結果となったが、医師数の増加等による入院単価及び患者数の増加により、医業収益のつなげることができた。

・ 平成21年度より毎年単年度黒字を計上しており（平成26年度は会計制度の改正により赤字、実質黒字である。）、本年度は前年度と比べ外来収益が約2,594千円減少したが、入院収益で約84,055千円の増収になったことで、142,910千円の純利益を計上することができた。

①損益計算書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日) (千円)

区分	H30実績
医業収益	5,967,591
うち入院収益	4,051,610
うち外来収益	1,535,198
医業費用	5,921,430
うち職員給与費	3,142,788
うち材料費	1,295,219
うち委託費	458,906
うち減価償却費	263,833
医業損益	46,161
医業外収益	306,458
医業外費用	208,124
経常損益	144,495
特別利益	1,934
特別損失	3,519
純損益	142,910

* 損益計算書とは、一定期間内における企業の経営成績を表すもの。

②貸借対照表

(平成31年3月31日時点) (千円)

資産		負債	
固定資産	2,376,328	固定負債	2,163,585
有形固定資産	2,240,553	企業債	982,713
無形固定資産	2,110	引当金	1,180,872
その他	133,665	流動負債	1,185,309
流動資産	1,661,080	企業債	278,806
現金及び預金	655,594	引当金	232,234
未収金及び未収収益	1,008,464	未払金等	603,773
その他	△ 2,978	その他	70,496
<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; position: relative;"> / </div>		繰延収益	35,370
		資本	
		資本金	1,443,386
		剰余金	△ 790,242
合計	4,037,408	合計	4,037,408

* 貸借対照表とは、ある一時点における財政状況を表すもの。

③一般会計繰入、補助金等の状況

項目	金額(千円)	備考
県補助金	14,191	協力型臨床研修費補助金、臨床研修費等協力型医師臨床研修費、がん拠点病院運営事業費、認定看護師養成支援事業、耐震診断事業
その他補助金	3,399	有明地域病院群輪番制
繰入金	497,298	救急医療確保経費、研究研修費経営研修費、追加費用負担経費、児童手当に要する経費、院内保育所の運営に要する経費、企業債償還利息利息、高度医療、小児医療、周産期医療、感染症医療、企業債償還元金【H14以前事業】*2/3【H15以後事業】*1/2以内で計算

【補助金】国、県等から病院事業会計への各種行政上の目的をもって交付されるもの

【繰入金】地方公営企業法第17条2、第17条3に基づき、一般会計から病院事業会計に繰り入れられたもの

④企業債の借入状況等

(千円)

区分	平成29年度末残高	平成30年度償還額	平成30年度借入額	平成30年度末残高
企業債	1,039,773	281,954	503,700	1,261,519

* 病院が施設又は医療機器の整備等の財源とするために国の許可を得て国や銀行から借り入れる長期の借入金のこと